

## 山武市子ども・子育て会議（令和元年度第1回）要旨

日時:令和元年7月26日(水)13時30分～16時00分

場所:山武市役所(新館3階) 第5会議室

出席者:委員18人/20人

事務局14人

傍聴人:なし

進行:子育て支援課主幹

議事進行・会長

### 議事結果

#### (1) 報告事項

- ①幼稚園及び保育所の廃止について・・・了解
- ②幼児教育・保育の無償化について・・・了解
- ③まつおこども園の移転に係る進捗状況について・・・了解
- ④子ども医療費及び高校生医療費の無償化について・・・了解

#### (2) 協議事項

- ①まつおこども園の認可定員について・・・了解
- ②第2期山武市子ども・子育て支援事業計画策定について  
・策定スケジュールについて・・・了解  
・進捗状況の実績を踏まえた現状の把握と課題について・・・了解

#### (3) その他

- ・質疑応答

敬称略

### 1. 委員委嘱〔市長より各委員へ交付〕

### 2. 開会〔進行〕

#### 会議成立の報告〔進行〕

（委員20名中18名出席。会議条例第6条により、過半数を超えたので会議開催。）

### 3. 挨拶〔市長〕

- ・委員の紹介〔司会より氏名を読み上げて紹介〕
- ・会議主旨、目的〔子育て支援課長〕
- ・会長及び副会長の選出

#### 4. 議事〔会議条例により議事進行：会長〕

##### (1) 報告事項

##### ①幼稚園及び保育所の廃止について〔子育て支援課長〕

（「資料1 幼稚園及び保育所の廃止について」をもとに報告）

少子化の影響により入園希望者が減少し、今後の入園希望者の増加も見込めないため現在休園中の、山武市立蓮沼幼稚園、山武市立むつみのおか幼稚園、山武市立豊岡保育所を令和元年7月31日で廃止する。跡地利用に関しては、蓮沼幼稚園は教育委員会の倉庫として利用しているが取壊しの方向で、むつみのおか幼稚園は「私立若杉保育園」より子育て支援センター等の利用の申し出があり、どちらも検討している。山武市立豊岡保育所は備品等の保管場所として利用しており今後は、消防防災課が倉庫として管理する予定で検討している。

##### ・内容への質問、意見

なし

##### ②幼児教育・保育の無償化について〔子育て支援課事務局〕

（「資料2 幼児教育・保育の無償化について」をもとに報告）

令和元年10月1日より幼児教育・保育の無償化が条件や上限はあるが実施される。それに関連して、預かり保育料や給食費の制度が変わり副食費については実費徴収がある。ただし年収360万円未満の家庭と第3子は免除される。市独自の第3子無料についても継続。

##### ・内容への質問、意見

Q〔委員〕 幼稚園の給食費についても説明が欲しい

A〔子育て支援課事務局〕 幼稚園は教育委員会で提供しており、1食240円がベースとなる。月額3,100円で年度末に精算を行っており、現行のまま変わりはない。

##### ③まつおこども園の移転に係る進捗状況について〔子育て支援課事務局〕

（「資料3 まつおこども園の移転に係る進捗状況について」をもとに報告）

工期は令和2年2月29日までとしており、現在解体撤去の工程に着手している。認可定員については、後ほど協議事項にて説明する。

##### ・内容への質問、意見

なし

##### ④子ども医療費及び高校生医療費の無償化について〔子育て支援課事務局〕

（「資料4 子ども医療費助成、高校生等医療費助成の拡充について」をもとに報告）

令和元年8月1日保険診療分から、子ども医療費助成の一部負担を無くす。また、高校生等医療費は自己負担額をすべて助成する。助成を受けるためには事前の登録申請が必要となる。

- ・内容への質問、意見  
なし

## (2) 協議事項

### ①まつおこども園の認可定員について〔子育て支援課事務局〕

（「資料3まつおこども園の移転に係る進捗状況について」の別紙をもとに報告）  
移転後は現在の状況を反映し、0,1歳児の需要を見込んで増やしており、0歳児:6人、1歳児:15人、2歳児:20人、3歳児:28人、4歳児:28人、5歳児:28人の合計125人を定員（案）としている。

- ・内容への質問、意見

Q〔委員〕 0歳児は何か月からの受け入れを予定しているか。

A〔子育て支援課事務局〕 こども園で月齢10か月からとしている。私立保育園が3か月から受け入れており、それでニーズは賄えていると思っている。

Q〔委員〕 賄えているのならば問題ない。

### ②第2期山武市子ども・子育て支援事業計画策定について〔子育て支援課事務局〕

- ・策定スケジュールについて

（「資料6第2期市町村子ども・子育て支援事業計画における[量の見込み]の算出等の考え方について」、「資料6-1第2期子ども子育て支援事業計画策定スケジュール」をもとに説明）  
見込量・質等の算出を7月から12月まで、計画骨子案の策定を7月から9月まで予定している。第2回会議9月、第3回会議11月、パブリックコメントを予定し、年明け2月に第4回会議として、計画の報告とする予定。

- ・内容への質問、意見  
なし

- ・進捗状況の実績を踏まえた現状の把握と課題（前半）〔子育て支援課事務局〕

（「資料5子ども・子育て支援事業計画【主な事業・取組み】平成30年度末までの進捗状況」、「資料5-1山武市子ども子育て支援事業計画の基本施策別進捗状況について」をもとに説明）

平成30年度末までの進捗状況ということで説明する。基本目標1「子どもの人権の尊重と安全安心な環境づくり」は14事業で進めている。平成30年度末の点検評価はいずれも順調またはほぼ順調となっている。

基本目標2「子どもが豊かにたくましく育つ教育の推進」は、14事業で進めており、事業評価は多くがほぼ順調という結果だが、親業講座、家庭教育学級に関しては参加者が少ないため遅延となっている。

基本目標3の「安心して子どもを生み育てられる環境づくり」は、18事業で進めている。い

ずれの点検評価も順調またはほぼ順調となっている。

基本目標4「子どもと子育てを支援する地域づくり」は、22事業で進めており、事業評価は多くがほぼ順調だが、ファミリー・サポート・センター事業が未実施のため遅延、病児・病後児保育が一部遅延、認定こども園の設置については、山武地域の幼稚園と保育園のこども園への再編が意見集約に時間を要すると想定されるため一部遅延、となっている。

#### ・内容への質問、意見

Q〔委員〕基本目標1の児童虐待防止対策で、在留資格を有しない外国人妊婦が在住しているとあるが、現在外国人妊婦は何人いるのか、また障がいのある子どもの訓練事業・障害福祉サービスの利用促進の課題で、マザーズホームの通所希望者が増加し保護者の意向に沿った利用ができない場合があるとなっているが、増員や通所への対応の拡大などどうなっているか。

A〔健康福祉課事務局〕外国人妊婦は平成29年が17名、平成30年が13名となっている。

A〔保健福祉部長〕マザーズホームは昭和40年代の建物で老朽化も進んでいる。建て替えを含め統廃合についても場所等を検討することを考えており、課題としては十分認識している。

Q〔委員〕施設が古いのはわかるが、検討の間待ってられるのか。今現在対象の子どもを預かって欲しいところがある。深刻な問題なので改善の検討を希望する。

Q〔委員〕遅延のある事業は前回も同じものが上がっていた。全体で見ると順調と遅延の判断基準が見えない。

A〔子育て支援課事務局〕現状の課題に対して、解決できているか否かで判断している。全く進めていなければ遅延としている。

Q〔委員〕親業講座・家庭教育学級についてはどうか。

A〔教育部長〕参加人数の少ない事業・取組に関しては、昨年も同じ質問をいただいた。見直しをして講演会と抱き合わせるなどの周知や参加者増加への創意工夫をし、努力はしているが増えていない。

Q〔委員〕ストイックに参加者が少ないので遅延としているのなら、知名度を高めることや参加者を増やすために行うことを具体化する事の評価で良いのではないか。

A〔教育部長〕評価の方法については再考する。

Q〔委員〕基本目標2の親業講座、家庭教育学級が遅延、一部遅延ありで参加者が少ないとなっている。待つだけでは参加者は増えない。今までにこんな事を行ったら参加したい等を逆に尋ねたことはないか。

A〔教育部長〕そこまでの詳しい分析は行っていない。

Q〔委員〕子どもの貧困について、子ども食堂の取組は知っているがそのほかに貧困家庭に対してどのような支援を行っているか。

A〔教育部長〕教育委員会の取組について説明する。一定の所得水準を下回る家庭に対して学校にかかる費用の助成をしている。また、公民館で学習場所を提供し、講師を週2回派遣することを無償で行っている。

A〔保健福祉部長〕準要保護世帯のお子さん達の高校進学のために、放課後に学校の先生方のOB組織GAの支援を受けながら、進学サポート・勉強の手助け等を行っており、実績が上がっている。

Q〔委員〕具体的に、どこで週何回やっているのか。

A〔保健福祉部長〕基本的には週1回程度。昨年だと松尾交流センターや山武中学校の3か所で開いた。今年は蓮沼方面にも場所を広げる予定で、徐々に拡大していく予定。

A〔子育て支援課事務局〕子育て支援課では、一人親家庭の自立支援として児童扶養手当を支給。また、親の就業支援も行っている。

Q〔委員〕基本目標4のファミリー・サポート・センターの件だが、毎回遅延となっている。何か方策を行っているか。

A〔子育て支援課長〕ファミリー・サポート・センターは近隣自治体で行っているところがあり、子ども子育てニーズ調査のアンケートにもあるが、事業の希望者数が少ない。他の市町村では利用の希望者は多いがサポートをする方の応募が少ない実態も報告されている。

Q〔委員〕ニーズはあるが担う人がいないのでファミリー・サポート・センターの設置が難しいという事なら、それに対しての取り組みについての評価でもできるのではないか。

A〔子育て支援課長〕今後検討した結果の評価をしていく。

Q〔委員〕社会福祉協議会でボランティア等の登録はあると思うが、そういったものを活用する事を検討してはどうか。

A〔子育て支援課長〕社会福祉協議会も含めて検討したい。

・進捗状況の実績を踏まえた現状の把握と課題（後半）〔子育て支援課事務局〕

（「資料5-2 山武市の子ども子育て支援の課題（現計画）」をもとに説明）

（1）少子化・核家族化の影響は、山武市でも少子化・高齢化が進んでおり親子や子ども同士がふれあえる場・機会を作っていくこと、出産や子育てしやすい環境を整備し子どもの育ちと子育て支援の推進が課題となる。（2）子育て家庭の仕事や家庭生活の変化は、低年齢児からの保育サービスのニーズへの対応、教育と保育のニーズのギャップの解消、地区ごとのバランスの良い教育・保育の提供が課題となる。（3）成長過程と子育て家庭の働き方に沿った多様な教育・保育サービスの充実、幼児期における教育・保育サービスの提供による就労しやすい環境づくり、ワークライフバランスの啓発、父親の意識改革、市民に対しての幅広い選択肢の提供が課題となる。（4）子育てを応援する環境・地域づくりは、関係機関、地域とのネットワークの強化、子育てを多面的にサポートする取り組みが課題となる。

・内容への質問、意見

〔委員〕ファミリー・サポート・センターが設置されれば課題はクリアされるものが多いと思う。人口減少の問題もあるので子供たちが山武市に住み続けたいと思うようなまちづくりをしなければならない。現実的にすすめていただきたい。

〔委員〕ファミリー・サポート・センターのサポートをする方は、退職した方で協力できる方をどこかで募れば良いのではないか。

〔委員〕保護者代表の方々がいらっしゃるので、他の事例などもふくめて子ども子育てに関する事を問題意識として共有するものとして意見を言っていたきたい。

〔委員〕周りの保護者の声だが、0歳児の保育の空きがない。職場からは第1子の時には0歳から復帰できたので第2子も同様にと言われて困っていると聞く。

〔委員〕祖父母の就労による要件を満たさなくても良いのではないか。長児部の条件が厳しすぎるのではないか。就労時間が規定に足りないから預けられないのではないかという不安もある。もう少し預けられる意見を聞いてもらいたい。

〔委員〕団体行動に慣れる慣らし保育を預かり保育でお願いしたかったが、一園に2~3人の枠で他の園も一杯で利用できなかった。自分の舅、姑は高齢で頼めない。一時預かり保育の人数を増やしてもらいたい。

〔委員〕外で遊べる場所が少ない。市内131カ所とあるが、どこにあるのか。遊具がある公園が増えるとうれしい。

〔委員〕学校の行き帰りに先生が学校の周辺は立って見てくれているが、高齢者の危険運転が多い。大人の自分でも危険だと感じる。市として事故を防ぐ体制をお願いしたい。

蓮沼に住んでいるが、小学生が帰宅しても遊べる場所がない。囲いがあり、車が通行しても危なくない場所ができれば良い。

〔委員〕高校生の子どもの送り迎えが大変なので、スクールバスとまではいなくても、乗り合いタクシーなど通学に使える工夫があると良い。

〔委員〕事務局にたくさん意見等が出たので対応をお願いする。

〔子育て支援課事務局〕人材不足で教育・保育の担い手は都会に取られている。大学で免許を取得しても山武市で保育士にはなってもらえない。近隣の市町村も同様である。現在は看護学部の学生に保育補助員として入ってもらっている。こういった事もあるので、いろいろなアイデアをもらいながら計画を作っていくたい。ご協力をお願いする。

## 5. その他

〔委員〕まつおこども園の工期が遅れた場合、通園予定の子はどうなるのか。

〔子育て支援課事務局〕1か月の猶予期間を設けている。工事は順調に進んでいる。

〔委員〕豊岡小の跡地で以前のこども園より土地が広いが安全上の保障は大丈夫か。

〔子育て支援課事務局〕校庭の半分は保護者駐車場、もう半分を園庭とし畑や遊具を設置する。自然が豊かすぎるくらいで見通しが悪いので、木は伐採して3分の1程度の量にする。

〔委員〕入口道路の広さは変わらないか。

〔子育て支援課事務局〕検討はしている。進入路の拡張などは交渉している。

## 事務連絡を伝え、閉会